

令和7年度 学力向上推進
具体的取組（重点事項）実施報告書

園 名 城岳こども園

氏名（役職） 高井 美和子（主幹保育教諭）

- 【報告内容】
- 1 本年度の具体的取組（重点事項）について
 - 2 自己評価とりまとめ（集計、考察）

I 本年度の具体的取組（重点事項）について

※ A4×2枚程度でまとめてください。

○ 本園の具体的取組（重点事項）

【環境を通した教育保育実践の充実】

- ・ひとりひとりの個性を大切にし、子どもにとっての利益を優先して考える保育。
- ・達成可能な目標を設定し、達成感を味わう保育の工夫。

【専門性の向上に繋がる園内研修の充実】

- ・クラス別に行う、年1回の職員間による職員参観(互いに評価し改善点を振り返る)

【基本的な生活習慣の形成】

- ・園庭でのラジオ体操、朝のマラソンを通した活動の工夫。
- ・チャレンジカードを活用しながら伝承遊びに触れる工夫。

○ 取組の内容

※次ページ記載

○ 取組の成果

- ・「主体的・対話的で深い学び」となるように、環境構成を見直すように努める。
- ・発達の連続性を大切に、環境構成、週日案に反映させながら、小学校教育の円滑な接続へとつなげる。
- ・子どもの姿を捉え、チームで丁寧に、かつ柔軟な対応が行えるよう努める。

○ 取組の課題

- ・PDCAサイクルを回せるよう時間の確保。
- ・幼児教育と小学校教育の相互理解を深める

○ 取組の内容

【幼児期における取組】「自立した学習者」育成に繋がる幼児期の学び

「主体的・対話的で深い学び」のある教育・保育の実現

資質・能力の基礎を育む

知識及び技能の基礎

思考力・判断力・表現力の基礎

学びに向かう力

【環境を通した教育保育】

- ・ひとりひとりの個性を大切にし、子どもにとっての利益を優先して考える保育
- ・達成可能な目標を設定し、達成感を味わう保育の工夫



かたつむりの足跡…どこに行くのかな



発表会の振りつけ…こういうのはどう？



フラフープも時にはテーブルに

【専門性の向上につながる園内研修の充実】

- ・クラス別に行う、年 1 回の職員間による職員参観(互いに評価し改善点を振り返る)



【保育参観】子どもの成長を感じてもらいながら、教育・保育についての理解を深める



職員研修「救命救急(心肺蘇生)」

【基本的な生活習慣の形成】

- ・園庭でのラジオ体操、朝のマラソンを通した活動の工夫。
- ・チャレンジカードを活用しながら伝承遊びに触れる工夫。



かるた遊びも楽しいな



今日は何に挑戦しようかな



縄跳びが飛べず悔し涙…また頑張ろう

2 自己評価とりまとめ（集計、考察）

【評価指標】 4とてもできた 3おおむねできた 2あまりできなかった 1できなかった

評価項目	評価	コメント（成果・課題等）
○具体的取組について理解し、課題意識を持って取り組むことができたか。	2.8	・子ども達の声ひろい、興味や関心に沿ったこども主体の活動となるよう環境構成の工夫を行った。 ・子に合わせて遊びに誘ったり、遊び込めるよう工夫することで、遊びのつながりや満足感が味わえるようにした。 ・一人一人の個性を大切に、自分で選び、考え、取り組めるようなコーナー作りや声掛けを心掛けた。 ・熱中症対策として、朝の涼しい時間に活動時間を設定したり活動内容の工夫を行ったが、毎朝のマラソン習慣化にまではいかなかった
○職員間で共通理解を図り、連携・協力して取り組むことができたか。	3.0	・日々の情報共有不足を感じる事がある為、丁寧に情報を共有し共通理解を図るようにしていく。行事等は PDCA サイクルを効果的に回すことが出来た。 ・毎週行う週日案会議にて、こども達の援助や配慮、課題を話し合う事で、こども一人一人の個性を大切に保育を行うことが出来た。 ・クラス間で話し合ったことを週日案に反映させる事で、次週への課題、改善に繋げた。話し合いから実践、結果までをもっと深められるようにしたい。 ・支援会議により、支援を要する子についての支援の方向性や環境作り等、共通の視点を持ち見守れる体制を整える事が出来た。
○具体的取組を活かし、自己及び園の教育・保育の工夫改善を図ることができたか。	2.8	・職員による保育参観では、保育の振り返り、見直しとなる為継続的に出来るようにしていく。参観時間や回数の改善が必要だと考える。 ・日々の気づきを記録し活動を振り返り、活動の流れや声掛けを改善することで、こどもの安心感や主体的な姿に繋がった。 ・子ども達は試行錯誤を繰り返しながら発達に必要な事を見つけている姿が見られ、環境の再構成により学びが深まると感じた。 ・昨年度を振り返りながら今年度の子ども達の姿にあった内容に改善し、子どもの姿に応じた柔軟な保育に取り組みめたと思う。

○具体的取組の推進が、学級や園の教育・保育の質の向上につながることができたか。	2.7	・園長、主幹、保育教諭で取り組みを勘案し、成果や課題を共通理解することで、教育保育の質向上に繋がった。 ・園外研修で得た学びを、研修報告により、職員全体での質向上に繋がっている。 ・積極的にチャレンジカード活用する事で、何事にも意欲的に取り組む姿が多く見られるようになった。子どもの意欲を大切にし、自信を持って園生活を送れるよう援助することができた。 ・子どもの興味を広げる活動や、主体性を育む環境構成の工夫がクラス全体の学びや意欲の向上に繋がった ・具体的な取り組み内容を決めてた事で意識できた。
4項目の平均	2.9	【まとめ（総評）】 ・疑問に思ったことは職員間で話し合い、決定事項の周知徹底がチーム力に繋がると考える。 ・自園での具体的取り組みをたてる事で、保育教諭全員で共通理解のもと、教育・保育の方向性を統一しながら日々の活動にとり組めたのは良かった。 ・保育教諭は園児にとって信頼と安心できる存在でなければならない。一人一人の心と発達の特性を理解し、環境を整えていく。また、責任感と愛情、体力を持って子どもの気持ちに寄り添い受け止める。 ・子ども達が笑顔で楽しく自分を発揮できるクラスとなるようこどもの姿を丁寧に読みとり、環境構成や関わり方の工夫に努めた。 ・子ども達が主体的に過ごせるよう環境構成を工夫することで、学びを支える事ができた。 ・実態や状況の変化に応じて具体的な取り組みの見直しをしてもよいと思った。まだまだ工夫できることがあったように感じた為、継続的に取り組んでいく。

【こども教育保育課提出期限】12月19日（金）（仲田へデータ提出）